

# 予算決算委員会の審査概要

全議員参加により、平成26年度補正予算及び関連議案、平成25年度決算議案について審査を行いました。

審査の概要 ①議案の概況説明 ②総括質疑 ③6分科会による詳細な審査 ④締めくくり総括質疑 ⑤採決

## 総括質疑（平成26年9月24日、25日）

### 自 民 党

#### 質疑1 決算歳入・歳出について

歳出において、年々増えていくことが想定される義務的経費であるが、その主な財源は、市税・地方交付税である。義務的経費に使われる一般財源額を市税によってまかなう事が理想と考えられることから、自主財源としての市税を今後、更に増やしていくために、市税の徴収率向上推進等に努めてもらいたい。

#### 質疑2 学級支援員派遣について

小中学校においては、様々な支援を必要とする児童生徒が増えている。学級支援員の派遣は、そのような子どもたちが安心して授業を受けるため大きな役割を果たしていると、学校現場でも評価の声が聞かれる。  
支援員の確保については、質・量ともに適切かつ十分な配置ができるようお願いしたい。



### くまもと未来

#### 質疑1 不納欠損、収入未済について

決算での収入未済額は、時効までの過年度分が毎年加算されて高額になっているが、その対応は？

#### 質疑2 入札状況について

資材・人件費高騰で入札不調が多い現状を聞き、柔軟で臨機応変に対応するよう指摘。

#### 質疑3 社会福祉法人指導状況について

市の改善命令に従わない法人には断固たる対応をすべきと指摘。

#### 質疑4 桜町再開発について

MICE（※1）施設整備に約400億円かかるなどを市長はどう感じるか聞きたい。

#### 質疑5 未達成事業に対する改善について

目標が未達成の事業に関して、前年の反省を生かし、抜本的に取り組みを見直して、目標を達成しようという形跡が見受けられないものがあることについて。

#### 質疑6 障がい者社会参加・就労支援事業について

サービス支給決定までの時間が長すぎる。出来る限り迅速に、支給決定が出来る体制にすべきでは。

#### 質疑7 教育相談等事業について

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー（※2）の成果と、現場の反応について。

#### 質疑8 委託の実態の把握について

委託の実態を把握出来ず、履行が不十分なケースが存在している。委託のチェックの指導はどのように行っているのか。

### 市 民 連 合

#### 質疑1 集団フッ化物洗口（※3）の実施について

小学校での集団フッ化物洗口は、学校現場・保護者・専門家も危険性を指摘する中、現在6校のモデル校を指定し、実施されている。各校での実施期間は、数ヶ月から1年10ヶ月といった状況の中、来年度から小学校全校に、集団フッ化物洗口実施の計画がある。モデル事業としての効果の立証や検証がないままでの全校実施は問題。

また、学校現場からの要望ではないこと、アレルギーの子どもたちが増加している現在、その対応策への懸念と、薬を学校に持ち込むことへの危険性や、指導や監督の態勢の不備などがある。



児童生徒の歯科保健は本来、家庭で対応すべきもの。なぜ学校で、集団で実施するのか。個人の体質や生活を考慮せず、集団を対象とする手段は一人一人を大切にする視点に欠けている。

### 公 明 党

#### 質疑1 図書館管理運営事業について

図書館は本を貸し出すだけの施設ではなく、これから図書館サービスには、地域に役立つ魅力ある図書館になるよう、新たな視点が求められている。本市ならではの付加価値をどう高めていくか、市民の立場にたって、より良い環境を提供すべきである。



#### 質疑2 担い手育成事業について

農業後継者確保のための、新規就農者に対する5ヵ年の支援事業であり、その間に経験を積み、技術の習得などの支援を行い、耕作放棄地等の農地を集積し貸し出し、生涯農業を続けるよう支援していただきたい。

### 共 産 党

#### 質疑1 生活困窮者に対するワンストップでの総合相談窓口設置について

税や保険料の滞納など生活困窮者に対し、自立への支援も含めた各課連携によるワンストップ総合相談窓口を設置すべきではないか。



#### 質疑2 県民百貨店の存続について

桜町再開発計画により営業継続断念に追い込まれた県民百貨店の建物を再開発計画から除外し、営業が継続できるよう尽力すべき。

※総括質疑の会派ごとの掲載スペースは、質疑の会派持ち時間により割り当てられています。



この用語って何？

MICE（※1）…企業等が行う会議や研修旅行、国際会議や学会など、多くの集客が見込めるイベントの総称。  
スクールソーシャルワーカー（※2）…児童生徒の様々な課題に対して、学校や関係機関と連携し、問題解決ができる環境づくりや課題解決を図る、社会福祉士などの福祉の専門家。  
フッ化物洗口（※3）…低濃度のフッ化物水溶液で、一定時間ぶくぶくうがいすること。